



網おこし (写真提供: 山田 RC)

2024-2025 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

GOVERNOR:
Tsuyoshi SATO

6

月信 Vol.12

2025
JUNE

ガバナーメッセージ	2
ロータリー親睦活動月間によせて	3
2024-2025年度 地区大会 報告	4
R L I 研修パートⅢ 開催報告	5
2025学年度米山記念奨学生オリエンテーション 並びにカウンセラーオリエンテーション 開催報告	6
職業奉仕委員会事業報告	7
第4分区IM開催報告	7
加藤エレクト年度3大セミナー開催報告	8
第2回ガバナーノミニ・ラーニングセミナー 出席報告	9
全国IA研究会・長野会議での学び	9
全国RYLA研究会・広島会議参加報告	10
2025年規定審議会の報告	10
2025年度 Global Philanthropy Seminar(GPS)参加報告	11
奨学生レポート	12
大船渡山林火災被害に対する支援の御礼と報告	12
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告・行事予定表	13
編集後記	14



ロータリー親睦活動月間によせて

国際ロータリー第2520地区
2024-2025年度 ガバナー

佐 藤 剛

Tsuyoshi Sato

皆さんこんにちは。4月19～20日に開催された地区大会には700名を超えるロータリアンにご参加いただき本当にありがとうございました。まさに親睦の輪が大きく広がりました。親睦とは文字通り互いに親しみ合い仲良くすることです。その一方で、仲が悪い者同士が語り合う事により、互いを知り理解し仲睦まじくなるという意味も含まれているようです。

昨年のロータリー研究会で、ロータリー平和フェローの東北視察団受け入れの話を頂戴し、PDGの皆様と相談し3月22日（土）仙台周辺の地区役員を中心に声がけをし、料亭「東洋館」において交流会を開催しました。平和センター世話人代表の宮崎陽市郎PDG（D2750）御夫妻、センター長の新垣先生、職員の山縣さん、15名の平和フェロー、我が地区から18名、合計37名での懇親会は、琴、フルート、ピアノによる「春の海」の演奏で始まりました。フェローとの会話は主にスマホの翻訳機能に頼りながらでしたが、見事に会話は成立し、東日本大震災の話から杜の都仙台の話題まで、東洋館の美味しい肴と様々なお酒を口にしながらか盛り上がりしました。フェロー達のスピーチタイムがあり、スピーチを終えるまでお酒を控えていた方達もスピーチ後はワインを楽しみ、会話に深みも加わり、楽しい夜はあっという間に過ぎていきました。広島と東北の視察は来年以降、固定化しそうです。再来年の柴田年度にまたフェロー達がいらっしやると思いますので皆様奮ってご参加下さい。

我が団体はロータリーインターナショナルです。国際的親睦があってしかるべきなのです。地区大会には第3640地区から趙ガバナーをはじめ34名が来日しました。特筆すべきは彼等が奥州市にある齋藤實記念館を全員で視察した事です。齋藤閣下は1927年韓国最初の京城RC設立に御尽力されました。2027年は韓国のロータリークラブ創立100年の節目の年です。彼らの組織設立に大きな功績のあった齋藤閣下の記

念館で見たもの、それは90年以上前の機関紙「THE ROTARIAN」に掲載されたKeijo Rotary clubチャーターナイトの写真記事を含む様々なロータリーの宝物でした。おそらく来年以降、史実の調査でSeoul地区の同輩達が奥州市にやってくると思います。今から楽しみです。

5月15～18日、桑原PDG御夫妻、菅原PDG御夫妻、濱守PDG、伊藤PDG、加藤GE夫人、柴田GN、私を含む17名のメンバーで第3640地区地区大会に参加して参りました。仁川空港からホテルまでの趙ガバナーの車中において、「子供のてんかん認知症」プロジェクトの日本語資料を手渡され、「佐藤ガバナー、一緒にやりませんか。」と笑顔で誘われました。私が「姉妹地区とは申せ、飲んでお土産交換だけじゃね？！」と話す「そうですよ。こういうのがあってこそ姉妹地区です。」と二人共笑顔になりました。その話を同行の皆さんにお語りすると「良いと思う」の声が殆どでしたので、帰国後、必要書類のやりとりをスタートしました。

全て通訳任せの時代が続きました。韓国、台湾のロータリークラブと姉妹提携をしているクラブは地区内に多くありますが、何故か皆さん通訳頼りに見えます。今の時代、スマホの翻訳機能は驚くべき精度になっており実用に値します。「サシで話す」こと、向かい合って二人きりで話すこと、をして欲しいと思います。スマホがあれば大丈夫です。貴方の言いたいことをほぼ100%相手に伝えてくれます。今年は築館RC、佐沼RCの周年行事に韓国、台湾の会員が多数出席して下さいました。佐沼RCの大懇親会ではAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」でみんなが繋がって踊り大盛り上がりとなりました。こんなボディランゲージも素敵ですが、親睦のはじまりは会話です。日本人同士、そして海外の皆さんとも語り合って親睦の輪を広げ、自分自身も広く深みのある人生を謳歌しましょう。



ロータリー親睦活動月間によせて

クラブ奉仕委員会

委員長 菊池 忠彦（花巻南RC）

ご存知の通り、ロータリーには、「ロータリーの特別月間」があります。クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（RI）理事会が指定した月間のことです。なお、9月、10月には日本独自の月間テーマが設定されています。

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。その始まりを調べてみますと、次のような記述があります。『ロータリー親睦活動の起源は、1928年に結成した当時比較的新しい言語であった「エスペラント※」に関心を持ったロータリアンのグループが最初だと考えられています。「ロータリー親睦活動プログラム」は、およそ100年前に「世界親睦活動」として始まったもので、当初の親睦グループは、趣味の部分のみに関心があるものでした』

※エスペラントとは、1887年にポーランドの眼科医ザメンホフとその協力者達が考案・整備した人工国際語。当時のポーランドは民族間の争いが絶えず、その要因は言語の違いではないかと考えるに至りました。エスペラントは、言語の異なる人々の間での意思伝達を目的とする国際補助語としては最も世界的に認知され、普及の成果を収めた言語となっています。

ちなみに、世界の平和を願ったエスペラントの理想に共鳴して、日本でも多くの人びとがエスペラントを学びました。宮沢賢治もその一人でした。余談ですが、花巻から釜石までのJR釜石線の駅名にはエスペラントの愛称がつけられています。これは、宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」のモチーフとなった岩手軽便鉄道（釜石線の前身）にちなみ、

1995年に設定され、2013年に駅名標に併記されました。

話を戻します。1928年に始まったロータリー親睦活動は、現在は「ロータリー親睦活動グループ」として活動されており、そのグループは119を数えます（My ROTARYより）。共通の趣味や職業を持つ全世界のロータリアン、パートナー、ロータリーアクターが集まり親睦を深めています。また、その半数程度のグループがロータリー国際大会に参加し、「友愛の家」で活動紹介の展示を行っているそうです。

国内の地区やクラブでも、共通の趣味の同好会を作り、親睦活動を行っているところもあります。皆さんのクラブではいかがでしょうか。

1921年、エジンバラで開かれた年次大会において、ポール・ハリスは「ロータリーの原動力は親睦です」と述べました。例会や懇親会を通じて仲間意識が生まれることで、参加意欲が高まり、出席率や奉仕活動への積極性が向上します。その結果、活動の内容も充実していきます。近年は、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）の考え方が加わり、特にインクルージョン（包摂・受容）の重要性が増しています。そして、会員増強が叫ばれる中、この「親睦」の力を活かし、会員同士が意見を出し合う場を設けることも重要ではないでしょうか。

2024-2025 年度 地区大会 報告

4月18日(金)

記念ゴルフ大会

8:15 開会式 8:40 スタート 場所：栗駒ゴルフ倶楽部 天気 雨

参加人数 男性 116名、女性 5名 合計 121名
【個人】 優勝 桜井淳一（大河原） 2位 立石博政（大河原） 3位 西尾章（仙台南）
【団体】 優勝 大河原 RC 2位 奥州水沢東 RC 3位 盛岡 RC



4月19日(土)

14:00-14:35 **ガバナー補佐会議**

14:45-15:15 **諮問委員会**

15:30-16:00 **大会各種委員会**

会場：プラザイン水沢



ガバナー補佐会議



諮問委員会



左から
 RI 会長代理 寺嶋哲生様
 ガバナー 佐藤剛
 大会委員長 橋本欣也



大会各種委員会

18:00-19:40

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



盛岡芸妓による祝舞



うーの☆とりあ

司会
 野田公之（水沢 RC）
 高橋ゆきえ
 （奥州エフエム）



二胡・古箏・舞踊



D3640 趙ガバナー、佐藤ガバナー



ロータリーの
 誇りのシンボル柄の
 帯を着用



佐藤裕貴子
 ガバナーパートナー



4月20日(日) エクスカーション 花巻、平泉観光

4月20日(日) 13:00-16:40 本会議 会場：奥州市文化会館Zホール

来賓祝辞



岩手県知事
達増拓也様



奥州市長
倉成淳様



D3640 ガバナー
趙洪奎様



〈長年の日韓親善交流を称えて表彰〉
左から韓日親善委員長 金錫煥様
佐藤剛ガバナー
R I 元理事 金光泰様
パートナー 卞住仙様
D3640 ガバナー 趙洪奎様



RI会長代理 寺嶋哲生様
基調講演「現況報告～歴史的変遷から考えるRIの提案～」

特別講演
「映像で甦る、1930年代の
ロータリークラブ」
講師 柴崎由紀様



〈記念事業〉
奥州市総合体育館Zアリーナ前に屋外時計を寄贈。奥州市長へ目録贈呈

〈ガバナー賞 表彰〉
ロータリーの友の俳壇・歌壇・柳壇に3回以上掲載
熊谷義彌会員
(石巻西 RC)



17:10-18:15 大会懇親会 会場：プラザイン水沢



レイアロハ



水沢ベンチャーズ



フィリピンワイアー



世界の料理がずらり！



森川IPGのご発声で乾杯！



佐藤ガバナーを囲んで、水沢RC



R L I 研修パートⅢ 開催報告

RLI委員会 委員長 小池 康浩 (仙台東 RC)

去る5月10日(土)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)にてRLI研修パートⅢが開催されました。今年度も11月にパートⅠ、3月にパートⅡと合計3回の研修会を実施いたしました。

パートⅢはRLIカリキュラムのなかで最後の研修にあたるもので、「私のロータリーの旅」というテーマで、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指すものです。研修は6つのセッションを1セッション50分で行います。6～10人ずつに分かれてファシリテーターの進行のもとテーマに沿って自由にディスカッションを行います。発言は短く的確に行うこと、他人の意見に対しては否定をせず、寛容に受け入れることが基本ルールです。

今回は地区内の22クラブから33名の会員にご参加いただきました。参加者は入会まもない会員からベテラン会員まで多岐にわたり、それぞれの立場、経験をもとに自由に意見を交わしました。その様子はとても熱気があり、多くの気づきを得られた研修でした。この研修を通じて参加者の皆様のロータリー活動がより楽しいものとなることを期待いたします。

RLIは3回の研修を修了して卒業となります。今回は22名がめでたくご卒業され、閉会式にて卒業バッジが授与されました。

最後に柴田茂ガバナーノミニーから、このRLIをきっかけにロータリーの活動について知識を深め、地区の活動にも積極的に参加していただき、ロータリーを楽しんでほしい旨のご講評をいただきました。

次年度も9月、11月、3月と3回の研修を予定しております。他クラブの活動を知り、多くのロータリアンと知り合うまたとない機会です。是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。



	登録RC数	受講者数	卒業者数
パートⅠ	32	54	10
パートⅡ	22	35	2
パートⅢ	22	33	22

2024-25年度RLI研修受講者数



2025 学年度米山記念奨学生オリエンテーション 並びにカウンセラーオリエンテーション 開催報告

米山記念奨学会委員会 副委員長 小野 照代 (岩沼 RC)

2025 年 4 月 13 日 (日)、オリエンテーションは江陽グランドホテル (仙台市) において開催されました。

最初に、カウンセラーのオリエンテーションをパワーポイントで説明しました。奨学生は整列して入場し、会場の皆様から大拍手でお迎えされ、カウンセラー・クラブ委員長と同じテーブルに座りました。お互い初対面でしたが爽やかな会釈で緊張も直ぐにやわらぎ、佐藤剛ガバナーと米山記念奨学会理事の桑原茂様のお祝いの言葉に聞き入っていました。米山記念奨学会委員会の白鳥淳委員長から奨学生ハンドブックについて説明を受けた後に、「確約書」に署名し、11 名の留学生は正式にロータリー米山記念奨学生となり、米山奨学生バッジを襟元にした奨学生一人ひとりから、笑顔で自己紹介のご挨拶をいただきました。

奨学生を囲んで、カウンセラー・世話クラブ会長・指導教員・来会者・地区役員が同じテーブルにつき、美味しい食事をしながら会話も弾みました。米山記念奨学会評議員の山口淑子様、柴田茂ガバナーノミニーからお祝いメッセージを、4 名の指導教員からご挨拶をいただきました。奨学生は和やかに楽しく過ごし、カウンセラー・世話クラブの方々と今後の例会日程や交通手段を話し合っ、安心されたと思います。最後に集合写真を撮影しましたので、奨学生のグループラインを開設し、早速写真を共有しました。

		氏 名	ふりがな	性別	国 籍	学 校	専 攻	課程	学年	世話クラブ	世話カウンセラー
1	新規	陳 垂珍	チン アチン	女	中国	岩手県立大学	総合政策専攻	修士	2 年	一関中央	佐々木 喜榮子
2	新規	蘭 禹萌	リン ウモウ	男	中国	岩手大学	生物資源科学	博士	3 年	盛岡西	江村 洋弘
3	新規	アラム, モハメド ジャヘドゥ		男	バングラデシュ	岩手大学	理工学	修士	1 年	奥州水沢東	安藤 早苗
4	新規	馬 諾亜	マノア	女	中国	仙台大学	スポーツ科学専攻	修士	2 年	岩沼	小野 照代
5	新規	劉 瀛	リュウ イン	男	中国	東北工業大学	建築学	博士	3 年	古川東	佐々木 祐也
6	新規	李 晨煜	リ シンイク	女	中国	東北大学	臨床心理学	修士	2 年	築館	三浦 弘美
7	新規	彭 心雨	ホウ シンウ	女	中国	東北大学	医科学	修士	1 年	仙台北	加藤 幹夫
8	新規	郭 益塵	カク エキジン	女	中国	東北大学	生物生産科学	修士	1 年	大河原	津田 政行
9	新規	ゴデリヴァ アメリンダチカスアグリッピナ		女	インドネシア	東北大学	生物生産科学	修士	1 年	塩釜	桑原 茂
10	新規	劉 晗	リュウ カン	女	中国	東北大学	国際文化研究	修士	2 年	仙台東	石黒 大
11	新規	ヘック, コンスタンチン トーマス		男	ドイツ	東北大学	環境科学先端環境創成学	修士	2 年	仙台西	村山 裕俊
12	継続	梁 宰瑞	ヤン ジェソー	男	韓国	岩手大学	デザイン・メディア工学専攻	博士	2 年	盛岡	三浦 義孝
13	継続	孫 瑞雪	ソン ズイセツ	女	中国	東北大学	歯学科	歯学	5 年	仙台	阿部 賀寿男
14	継続	成 晋宇	ソン ジンウ	男	韓国	東北大学	化学	修士	1 年	仙台泉	中村 昭





職業奉仕委員会事業報告

職業奉仕委員会 委員長 時 準雄 (仙台泉 RC)

職業奉仕委員会では令和7年3月28日(金)に奥州市水沢の曹洞宗正法寺にて「職業倫理と禅」と題してセミナーを開催致しました。当日は佐藤剛ガバナー、柴田茂ガバナーノミニー、鈴木俊一パストガバナーはじめ地区各クラブから25名の参加をいただきました。

当初、正法寺山主の盛田正孝老師に講演をいただく予定でしたが、所用の為、正法寺布教師の海野義範老師に法話と座禅指導をいただきました。「職業倫理」については京セラの稲盛和夫氏の例を引きながら、仏教教学の「八正道」について説明されました。「八正道」とは悟りに至るまでの実践徳目を云い、正見・正思惟・正業・正命・正精進・正念・正定であります。その中でも「正思惟」について詳しい説明がありました。全ての行動の規範は正しい心の持ち方が大切であることを深く説いて下さいました。

休憩を挟み、座禅を体験致しました。足の組み方、姿勢、呼吸法、心の在りよう等、丁寧に渡り指導がなされました。その中で座禅中の思考について「何も考えないことも考えない」・「非思量」について説明がなされました。座禅の要諦とも云うべき事柄であります。この体験は参加された方々のそれぞれの心の中に深く刻まれた時間ではなかったかと思えます。

今回のセミナーを開催させていただく機会を与えて下さった佐藤ガバナーに厚く御礼申し上げ報告とさせていただきます。



第4分区インターシティミーティング開催報告

山田ロータリークラブ会長

山崎 淳一

2025年4月26日(土)山田町中央公民館小ホールにおいて第4分区インターシティミーティング(以下IM)を山田RCがホストクラブで開催いたしました。柴田茂ガバナーノミニー、寺崎勉・中田義仁第4分区ガバナー補佐、遠野・釜石・釜石東・山田・宮古・宮古東RCの会員の出席のもと盛大に開催されました。

開会セレモニーでは、物故者への黙祷、開会点鐘、国歌斉唱、ロータリーソングの斉唱が行われ、柴田ガバナーノミニー、寺崎・中田両ガバナー補佐からご挨拶を頂き、私から歓迎の言葉を申し述べました。

記念講演では、行政書士・三陸ジオパーク認定ガイド・山田町文化財保護審議会委員である伊藤実知子氏を講師に迎え、「足許(あしもと)を耕すということ・郷土の歴史に学ぶ」と題してご講演を頂きました。「人のいるところには歴史がある」、「うちの町には何もない(何もないのではなく、知らない・調べない・わからない)」、「歴史はなくならないが忘れられる」など、各クラブに関係する先人の方々の話を交え、会場全体が講師の話術に引き込まれる講演となりました。

休憩を挟み、各クラブも代表が「郷土の歴史や文化について」と題した講話をし、寺崎・中田両ガバナー補佐に講評を、柴田ガバナーノミニーに総評を頂きました。その後、会場を「三陸味処 三五十」に移して交流会を行い、各クラブ間の情報交換・ビンゴゲームなどで大変盛り上がり、素晴らしいあつという間のIMだったことを報告いたします。

結びに、ロータリークラブの益々のご発展をお祈りするとともに、大変お忙しい中ご出席を頂きました柴田茂ガバナーノミニーはじめすべての出席者の皆様に心より感謝申し上げます。





加藤エレクト年度3大セミナー開催報告

次期代表幹事

大槻 昌夫 (仙台 RC)

2025 年国際協議会にて 2025-26 年度国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために団結しよう」と地区リーダーたちに呼びかけました。ロータリーの奉仕を世界中で促進することの重要性を強調。その上で、成長のための「不可欠な 3 つの柱」として、革新、継続性、

パートナーシップを挙げました。



これを受けて、加藤雄彦ガバナー年度の地区方針として、「検討し更新しよう」を掲げ、クラブは目標と戦略計画を決めること、会員増強と活性化を推進すること、ポリオプラス寄付金一人 30 ドルを達成すること、DDF の活用を推進すること、地区会員ハンドブックを利用すること、さらには地区賦課金を負担減 (34,000 円から 29,000 円) することが、加藤ガバナーエレクトより 3 大セミナーにて説明されました。(尚、3 大セミナーは何れも仙台育英学園高等学校宮城野校舎にて開催されました。)

①地区チームラーニングセミナー

3 月 16 日に開催。次期ガバナー補佐、次期地区各委員会委員長・副委員長を含め 67 名が参加。次期ラーニングファシリテーター森川 PG のご挨拶があり、マリオ会長エレクトのメッセージが紹介されました。午後には加藤ガバナーエレクトから「3-YEAR ROLLING REGIONAL PLANS と地区組織」、「青少年保護と危機管理」について説明があり、森川 PG の講評で会を閉めました。

②会長エレクトトレーニングセミナー

4 月 6 日に開催。次期ガバナー補佐、次期地区各委員会委員長、クラブ会長エレクト等 113 名が参加。マリオ会長エレクトのメッセージが紹介され、基調講演「今こそクラブ奉仕」の演題で鈴木一作氏 (D2800PG・寒河江 RC) による講演の後、「行事日程・地区資金収支予算書・地区賦課金」が承認されました。午後には「3-YEAR ROLLING GOALS と基盤整備」について説明があり、クラブセントラルの入力についてトレーニングを行いました。佐藤 DG の講評で会を閉めました。

③地区研修・協議会

5 月 11 日に開催。次期ガバナー補佐、次期地区各委員会委員長、各クラブ次期役員・委員長を含め 446 名が参加。国際協議会報告および「クラブの居心地 (+B) を考える」の演題で、2025-2028 年度第 1 地域ロータリー会員増強コーディネーター田中久夫氏 (D2840PG・高崎 RC) の基調講演がありました。午後には 6 つの分科会で討議され閉会いたしました。





第2回ガバナーノミニー・ラーニングセミナー 出席報告

ガバナーノミニー 柴田 茂 (盛岡東 RC)

2025年4月16日、東京・JPタワー ホール&カンファレンスで開催された「ガバナーノミニー・ラーニングセミナー (GNLS) 第2回」に出席してまいりました。全国からガバナー同期会の仲間が集い、和やかな雰囲気の中にも真剣な学びがあふれる、有意義な時間となりました。

セミナーではまず、三木明・TRF 管理委員よりロータリー財団の最新情報が共有され、今後の補助金活用について貴重なご指導とヒントをいただきました。続く分科会では、「ロータリーの優先事項」や「地区の課題への取り組み」について、各地区の取り組みを聞きながら意見交換を行いました。どの地区も活発かつ前向きにチャレンジしており、大いに刺激を受けるとともに、第2520地区の次々期ガバナーとしての責任の重さを改めて実感いたしました。

とくに印象深かったのは、若いリーダーの育成やローターアクトの自立に向けた取り組みに関する発表です。若者の感性や柔軟な発想をどう活かすか、クラブ同士がどう支え合えるかという観点から、第2520地区でもすぐに取り入れられそうなアイデアが多くあり、さっそく今後の地区運営に活かしていきたいと感じました。

今回の学びと出会いを大切に、ロータリーらしさを活かした「活気あるクラブづくり」に今後も努めてまいります。皆様、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



第12回全国インターアクト研究会・長野会議での学び

ガバナーエレクト 加藤 雄彦 (仙台 RC)

4月26～27日、長野県松本市で第12回全国インターアクト研究会が開催され、全国から約90名が集い、「ロータリーの青少年奉仕活動の本質を共に考える」をテーマに学び合いました。

第2660地区直前ガバナーで精神神経科専門医の延原健二氏 (大阪大淀 RC) は、インターアクト活動がメンタルヘルスに好影響を与えると述べ、未病 (病気ではないが、健康でもない) を改善する鍵は DEI の実践にあり、自己肯定感の向上につながる「協力」「リーダーシップ」「問題解決力」「他者貢献」が重要であると強調されました。これらの力を育む RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) や IAC (インターアクトクラブ) の意義を改めて実感した研究会となりました。

親睦を深め、奉仕の理念を実践するロータリー精神は地域、家族を巻き込む形で若者へ「繋がり奉仕する」喜びを伝える活動を指します。

RYLA は「リーダーシップスキルを磨く」、「奉仕の精神を育み、奉仕の機会へと導く」、「参加者が互いに繋がり、協力し合う機会を作る」、「未来の担い手を育てる」、ことを目的としています。

IAC は「参加者の交流を深める」、「地域に役立つボランティア活動に参加する」、「国際理解を目指す」、「リーダーシップスキルを磨く」、教育的意義があります。

なお、2027年6月に第14回全国インターアクト研究会・仙台会議の開催が決定しました。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



左:泉田征慶ガバナーエレクト(D2530)、
右:加藤雄彦ガバナーエレクト



第17回全国 RYLA 研究会 広島会議参加報告

ローターアクト・RYLA 委員長 小野 智哉 (北上 RC)

去る 5 月 10 日 (土) ～ 5 月 11 日 (日) の 2 日間にわたり、広島県廿日市の安芸グランドホテルに於いて第 17 回全国 RYLA 研究会広島会議が「RYLA に求められるもの」を大会テーマに開催されました。全国からガバナー、ガバナーエレクトをはじめ、RYLA 担当委員長、RYLA プログラム修了生 (ライラリアン) など総勢 160 名が参加する大規模な研究会となりました。当地区からは早坂青少年奉仕委員長と私の 2 名が地区を代表して参加致しました。

一日目のメインプログラムは、全体でのシンポジウム「各地の RYLA プログラムが目指すものは何か」をテーマに、6 地区の代表者から RYLA について現状や課題についての発表がありました。各地区のシンポジストによる発表は非常に興味深く、そして参考になるものが多く、特に、場所・プログラム内容を変えずに 50 年間続けている地区、RYLA のプログラムの企画と運営をローターアクトやライラリアンの若者で結成された実行委員会に全面的に任せている地区の発表には惹きつけられるものがありました。このシンポジウムを通じて、青少年育成の場としての RYLA の重要性と可能性の拡がりを再認識して参りました。

翌日は各テーマに基づく分科会プログラムが企画されておりましたが、私たちは同日開催の当地区地区研修・協議会へ参加の為、参加が叶わず、残念ながら一日目のみの参加で失礼させていただきました。

尚、次年度の全国 RYLA 研究会は 2026 年 4 月 11 日 (土) に大分県大分市で開催されることが決まりました。



2025 年規定審議会の報告

国際ロータリー 第2520地区 代表議員

菅原 裕典 (パストガバナー、仙台泉 RC)

2025 年規定審議会が、4 月 13 日～ 17 日に米国イリノイ州シカゴにて開催されました。今回は、投票権を有する 515 名の代表議員のうち、496 名が参加しました。

日本を 4 月 12 日に出発し、翌 13 日にシカゴへ到着。同日 15:00 より開会説明会およびセレブレーションが行われ、本会議は 14 日から 17 日正午の閉会まで、5 日間にわたり開催されました。

当初、世界各国から 86 件の制定案が提出されましたが、審議会開催前に 5 件、審議会期間中に 6 件の計 11 件が撤回されました。さらに、事前審査において理事会提案の 1 件が同意議題となり、審議の対象外となりました。結果として、審議会では 74 件の制定案が審議され、そのうち同意議題を含め 31 件の制定案が採択されました。詳細につきましては、右側の QR コードよりご確認ください。



日本からは 26 件もの制定案が提案され、その数の多さに、日本の国際ロータリーに対する積極的な姿勢、勤勉な国民性、そしてロータリーへの真摯な取り組みに感銘を受けました。また、国や地域によって制定案に対する認識や考え方に大きな違いがある点も印象的でした。

今回、第 2520 地区の代表議員として参加する機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。この 5 日間は非常に有意義な学びの機会となりました。一方で、地区の代表議員として参加する前に、各クラブの会長や代表する皆様、各ロータリアンの皆様からさらに多くのご意見を伺うべきだったと感じております。





2025年度 Global Philanthropy Seminar (GPS) 参加報告

2025-2027年度 第1地域E/MGA

森川 昭正 (パストガバナー、仙台宮城野 RC)

去る 2025 年 4 月 27 日～ 29 日の 3 日間、エバンストンにある国際ロータリー本部において、グローバル・フィランソロピー・セミナー (GPS ;Global Philanthropy Seminar) が開催されました。この GPS は新しく就任する E/MGA (恒久基金 / 大口寄付アドバイザー) 及び EPNC (ポリオ根絶コーディネーター) を対象としたセミナーで、今回は 2025 年度から就任する世界各地の次期 E/MGA20 名、次期 EPNC16 名が参加しました。

会員の皆様の中には、E/MGA という言葉が耳慣れない方もいらっしゃるかと思います。E/MGA の役目は「恒久基金 / 大口寄付アドバイザー」の名前の通りですが、地域や地区のリーダーと密に協力しあい、大口寄付 (1 万ドル以上) の寄付見込み者の特定や開拓、懇親 (お願い) をするために計画を立て実行するとともに、財団支援者を招いた行事や、寄付見込み者探しを支援します。

E/MGA がロータリーの地域リーダーの一つの役目として初めて任命されたのは 2013 年です。その後、日本の 3 地域で 3 年おきに 1 名ずつが任命されてきました。この度、私たち第 2520 地区が含まれる日本の第 1 地域の 2025-27 年度 E/MGA として私が任命されました。

今回のセミナーは、自身が参加した国際協議会以来のグローバルなセミナーで、かつ、世界のロータリーのトップリーダーの多くに出会い、交流するという大変貴重な経験でした。ロータリアンであれば多くが憧れるロータリー発祥の地シカゴ近郊にある「ロータリー国際本部」。ポール・ハリスら 4 人が初めて会合を開いた部屋が再現された One Rotary Center の 1 階にある当時のポール・ハリスの事務所前には、ポール・ハリスの銅像が出迎えるように立っていました。

2 日半の GPS では、E/MGA として今後どのように活動していくのか、いかなければならないのかを学びましたが、大きく以下の 3 つのことを学びました。その一つはチームワークの大切さです。恒久基金 / 大口寄付の寄付者に限らず、財団への寄付への理解、促進するためには担当する地域、地区の RRFC、EPNC、地区ガバナー、地区財団委員長、恒久基金 / 大口寄付小委員会委員長などとの連携が必要であり、また、前任者や他地区の関係者との連携も大事であることを学びました。二つ目はエンドポリオ、恒久基金 / 大口寄付への理解促進のためにはストーリーが大切であるということです。自分の経験から自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。そして 3 つ目はロータリーが提供しているツールを十分に利用することです。E/MGA として閲覧権限を与えられるデータについても関係者と情報を共有しつつ、寄付者へのアプローチに繋げられるように検討していきたいと考えています。



ファシリテーターが自撮り



ポール・ハリスと握手

また、GPS 全体として感じたことは、主催している側も参加している側も、みんながフレンドリーで自由に発言でき、共感する雰囲気が出来上がっていたことです。そのお陰で、自分なりに各セッション討議について積極的な発言ができたと思います。

このセミナーで学んだことを活かし、第 2520 地区からの代表として恥じぬよう、3 年間の責務を全うできるように努めたいと考えていますので、どうぞご指導ご鞭撻、そして何よりも皆様の大口寄付へのご協力をお願いいたします。

奨学生レポート

ロータリー財団
グローバル補助金奨学金奨学生

遠藤 俊

Shun Endo



住宅街の桜並木

春の訪れとともに、子どもたちの学校や地域活動が本格的に再開され、日々新たな挑戦と発見の連続です。桜は私の生活圏でも大変人気があり、個人の庭に植樹する方も多く、仙台よりも目にする機会が多いことには驚かされました。季節の移ろいが国を越えて共通

していることに、どこか安心感も覚えます。

今回は、長男（小学5年生）の野球活動についてご報告させていただきます。渡米前は八幡少年野球クラブに所属し、仲間とともに白球を追いかけていましたが、現在は「RBBA（Rockville Baseball Association）」という地域リーグに参加しています。アメリカの少年野球では、ボールが日本の軟式ではなく硬式球であること、試合や練習の進行も日本とは異なり、初めての環境に戸惑う場面もありました。特に投手として登板するには、球の重さの違いに応じてリリースタイミングを調整する必要があり、昨年の夏から毎週数回、公園でキャッチボールや投球練習に父子で取り組んできました。慣れない硬式球で指を痛めることもありましたが、英語でのコーチングを理解するのに苦労することもありましたが、長男

岩手県一関市出身。

研究先：米国国立衛生研究所（National Institutes of Health/ NIH）

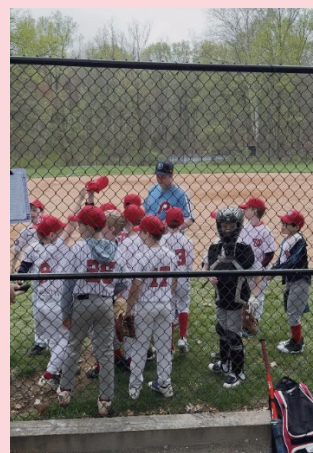
研究テーマ：乳がん脳転移における新規治療の開拓

ホスト地区：第7620地区（米国メリーランド州）

ホストRC：Metro Bethesda

は少しずつ技術と自信を積み重ね、現在ではピッチャー、ショート、キャッチャーといった守備の要を担い、打順も上位を打つ中心選手として活躍しています。野球を通じて現地の友人たちと打ち解け、自ら声を出してチームを引っ張る姿からは、異国での生活に前向きに向き合うたくましさを感じられます。親である私たちも、試合の送り迎えやボランティア活動を通して、他の保護者の方々と交流を深めており、地域社会の一員としてのつながりも徐々に実感できるようになってきました。トライアウトを経て、秋には実力や適性に応じて選抜されるトラベルチームに参加する予定です。このリーグではより高いレベルの競技が求められるため、長男にとっても大きな挑戦となりますが、これまで地道に積み重ねてきた努力を胸に、本人は楽しみにしているようです。

異文化適応には困難もありますが、それぞれの試行錯誤の先に見える成長の喜びを、家族全員で日々実感しております。今後も、家族とともにさまざまな挑戦を乗り越え、仙台の地で育んでいただいた学びを糧に、国際的な視野を広げてまいりたいと思います。



15人の野球チームでリーグ初戦に挑む

大船渡山林火災被害に対する支援の御礼と報告

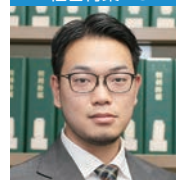
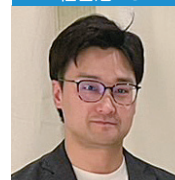
この度、大船渡山林火災被害に対して、皆様から多大なるご支援を頂戴し、心より御礼申し上げます。

第2520地区から会員個人、分区、ロータリークラブからご提供いただいた支援金は3,774,518円にのぼり、日本33地区からは総額72,206,682円の支援金が寄せられ、5月26日現在、支援金の総額は75,981,200円となりました。寄せられた支援金は、全額、大船渡RCへ送金し、大船渡・大船渡西RCのもと、被災地のために大切にに使わせていただきます。

支援金の使用につきましては、後日改めてご報告いたします。



新入会員紹介

盛岡 RC  佐藤 保 2025.4.11 入会 旅行業	盛岡 RC  佐藤 宙 2025.4.11 入会 証券業	盛岡 RC  米津 知裕 2025.4.18 入会 生命保険	盛岡 RC  古川 勉 2025.4.18 入会 電気工事	盛岡北 RC  水野 哲志 2025.5.14 入会 プロスポーツ	気仙沼南 RC  西川 昇 2025.4.1 入会 生命保険	奥州水沢東 RC  高橋 俊幸 2025.5.1 入会 ゴルフ場
釜石東 RC  成田 徳雄 2025.3.11 入会 医師	仙台 RC  小松 健夫 2025.4.1 入会 旅行斡旋	仙台 RC  黒田 政志 2025.4.15 入会 不動産管理	仙台青葉 RC  小田嶋 栄司 2025.4.2 入会 電気工事	仙台青葉 RC  佐々木 孝幸 2025.4.23 入会 造園	仙台青葉 RC  鹿野 徹 2025.4.23 入会 一般弁護士	仙台冠 RC  小松 由典 2025.4.1 入会 特殊法人 NPO
仙台南 RC  高橋 卓誠 2025.5.15 入会 市議会議員	亘理 RC  大石 公二 2025.4.1 入会 金融機関					

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
古川東 RC	大 沼 正 明	薬剤師	2025/4/15
大河原 RC	中 山 雅 之	生命保険	2025/3/31

クラブ優秀賞について

2024-2025 年度ロータリーのクラブ優秀賞を受賞するために、6 月 30 日までに、ロータリークラブ・セントラルにクラブの目標と達成の入力が必要です。詳細は下記をご参照ください。

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotary-club-excellence-award-goals-and-instructions>



2025-2026 年度へ向けて

2025-2026 年度のクラブ役員（会長、幹事、会計は必須）を MyROTARY に登録してください。登録は 2024-2025 年度の会長・幹事あるいはクラブ事務局が登録してください。次年度役員は登録する権限がありません。年度が替わった後は、米国本部に依頼しないと登録できなくなりますので必ず登録ください。

寄付報告 (4月)

■ロータリー財団

認 証	所属クラブ	氏 名
メジャードナー	佐沼 RC	太 田 陽 平
マルチプル・ポールハリス・フェロー	盛岡北 RC	赤 坂 俊 幸
	花巻北 RC	河 邊 幹 男
ポールハリス・フェロー	加美 RC	渋谷 英 博

■ロータリー米山記念奨学会

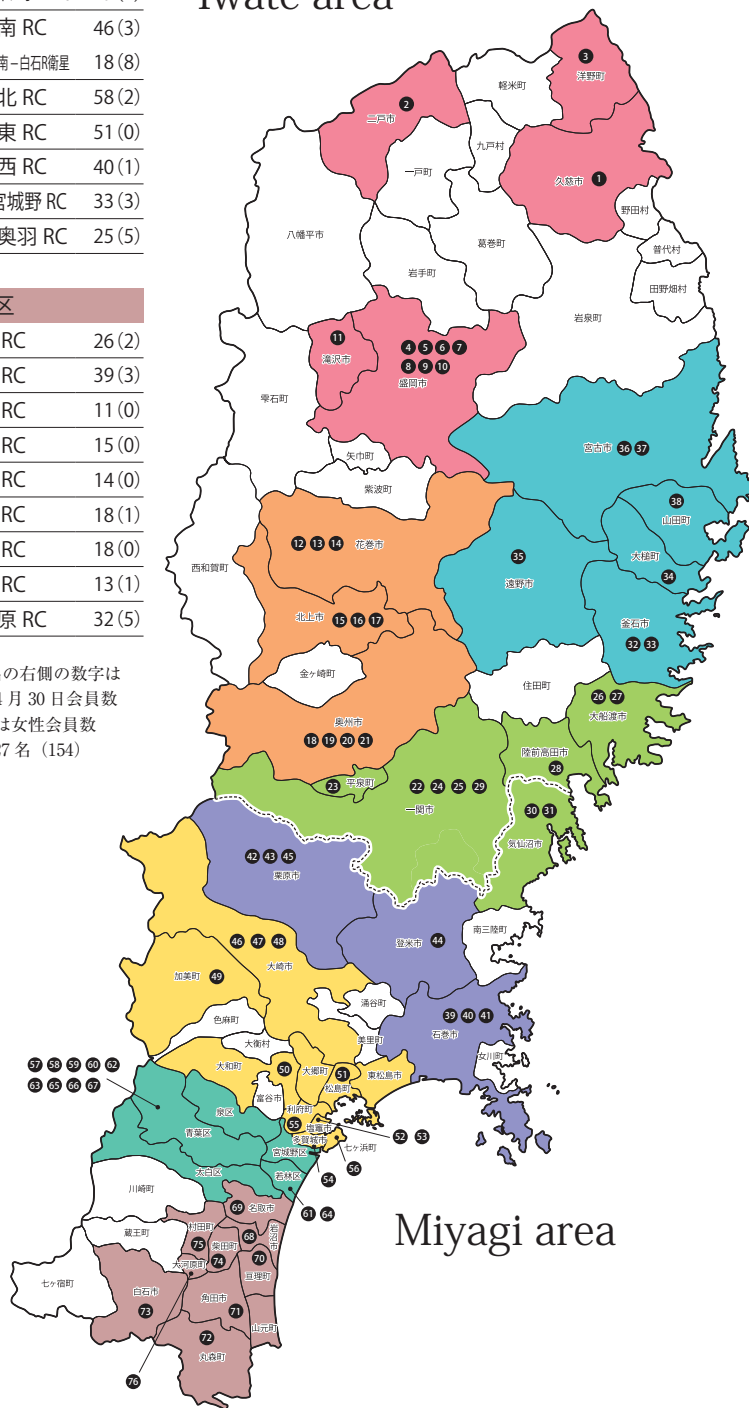
表彰名	所属クラブ	氏 名
米山功労者メジャードナー	仙台南 RC	村 山 裕 俊
米山功労者マルチプル	仙台泉 RC	鷲 尾 光 男

行事予定表(6・7月) 6月はロータリー親睦活動月間です

日 程	行 事	場 所
6 月	7日(土) 第 28 回 RI 日本青少年交換研究会青森会議	青森 青森ホテル他
	5日(木)~18日(水) 青少年交換短期生来日	岩手・宮城
	14日(土) 第 8 回ロータリー平和センターセミナー・第 23 回ロータリー平和センター年次セミナー	東京 国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
	21日(土)~25日(水) カルガリー国際大会	カナダ
7 月	1日(火) 第 1 回ガバナー会議、ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京 東京プリンスホテル
	12日(土) 佐藤剛直前ガバナー慰労会	岩手 プラザイン水沢
	17日(木) 米山校友会 世界大会	
	19日(土)~20日(日) インターアクト年次大会 (第 60 回記念大会)	宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	26日(土) 第 4 分区 地域フォーラム	岩手 あえりあ遠野

Rotary
District 2520

Iwate area



Miyagi area

第一分区	会員数
1 久慈 RC	25 (1)
2 二戸 RC	45 (5)
3 種市 RC	17 (0)
4 盛岡 RC	67 (2)
5 盛岡北 RC	34 (3)
6 盛岡西 RC	16 (2)
7 盛岡南 RC	46 (1)
8 盛岡東 RC	25 (2)
9 盛岡中央 RC	23 (4)
10 盛岡西北 RC	43 (5)
11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)

第二分区	会員数
12 花巻 RC	31 (2)
13 花巻南 RC	31 (1)
14 花巻北 RC	42 (2)
15 北上 RC	38 (4)
16 北上西 RC	19 (4)
17 北上和賀 RC	22 (4)
18 岩谷堂 RC	10 (0)
19 前沢 RC	11 (0)
20 水沢 RC	16 (1)
21 奥州水沢東 RC	31 (3)

第三分区	会員数
22 花泉 RC	10 (2)
23 平泉 RC	10 (0)
24 一関 RC	13 (1)
25 一関中央 RC	15 (6)
26 大船渡 RC	29 (2)
27 大船渡西 RC	33 (5)
28 陸前高田 RC	17 (0)
29 千厩 RC	23 (2)
30 気仙沼 RC	19 (0)
31 気仙沼南 RC	36 (2)

第四分区	会員数
32 釜石 RC	16 (1)
33 釜石東 RC	31 (3)
34 大槌 RC	6 (0)
35 遠野 RC	9 (2)
36 宮古 RC	27 (3)
37 宮古東 RC	21 (1)
38 山田 RC	21 (1)

第五分区	会員数
39 石巻東 RC	41 (0)
40 石巻西 RC	30 (2)
41 石巻南 RC	20 (1)
42 栗駒 RC	13 (1)
43 築館 RC	20 (2)
44 佐沼 RC	56 (6)
45 若柳 RC	25 (6)

第六分区	会員数
46 古川 RC	42 (3)
47 古川東 RC	40 (1)
48 岩出山 RC	11 (1)
49 加美 RC	15 (0)
50 大和 RC	5 (0)
51 松島 RC	5 (0)
52 塩釜 RC	28 (1)
53 塩釜東 RC	11 (1)
54 多賀城 RC	21 (2)
55 利府 RC	7 (1)
56 ケー浜 RC	13 (0)

第七分区	会員数
57 仙台 RC	113 (6)
58 仙台泉 RC	50 (1)
59 仙台青葉 RC	45 (0)
60 仙台冠 RC	18 (3)
61 仙台レインボー RC	9 (2)
62 仙台南 RC	46 (3)
63 仙台北 RC	58 (2)
64 仙台東 RC	51 (0)
65 仙台西 RC	40 (1)
66 仙台宮城野 RC	33 (3)
67 仙台奥羽 RC	25 (5)

第八分区	会員数
68 岩沼 RC	26 (2)
69 名取 RC	39 (3)
70 亘理 RC	11 (0)
71 角田 RC	15 (0)
72 丸森 RC	14 (0)
73 白石 RC	18 (1)
74 柴田 RC	18 (0)
75 村田 RC	13 (1)
76 大河原 RC	32 (5)

※クラブ名の右側の数字は
2025 年 4 月 30 日会員数
() 内は女性会員数
合計 2,027 名 (154)

今年度は、地区内のクラブが紹介する“地域のステキな場所・モノ”の写真をクラブに提供していただきます。そして写真を提供してくれたクラブの紹介をいたします。

網おこし (水揚げ) 岩手県下閉伊郡山田町

山田ロータリークラブ昆千里 (こん せんり) 会員が代表を務める山一定置漁業生産組合の「網おこし」(水揚げ) の様子です。日の出前から操業を始め、季節ごとに多彩な魚種が網に入ります。岩手三陸山田の豊かな自然と恵に感謝です。

クラブ紹介 山田 (やまだ) ロータリークラブ

1964 年 (昭和 39 年) 10 月 24 日に創立した山田ロータリークラブは、今年度 60 周年を迎えました。令和 6 年 11 月 30 日に山田中央公民館において記念式典祝賀会を佐藤剛ガバナー、小野寺弘行代表幹事、寺崎勉ガバナー補佐に御出席いただき開催いたしました。今までに 197 名の会員が在籍し、現在 21 名 (女性 1 名) です。還暦を迎えた節目に、改めてロータリー精神を念頭に活動してまいります。

編集後記

今月号では、皆様のご協力により開催された地区大会の写真を掲載しています。アットホームで楽しい雰囲気が伝わりますと幸いです。

先日、大阪・関西万博に行ってまいりました。当日は入場者数が過去最高を記録し、ゲートまで 1 時間、パビリオンでは 2 時間待ちの状況でした。大変疲れましたが、スタッフの皆様がとても親切で、最高のおもてなしをしてくださいました。なお、国際ロータリー第 2660 地区は大阪・関西万博のテーマウィークパートナーを務めており、8 月 1 日の「平和と人権」ウィークに協賛しています。(月信担当幹事 千田弥生)